

コンビニ受診を控えましょう

図健康づくり課(南有馬庁舎) ☎73-6641

本来、休日や夜間に重症救急患者を受け入れるための救急外来を「コンビニ受診」することで、救急医療機関の負担が大きくなっています。

●コンビニ受診とは…

昼間に受診できるのに、自分の都合で外来診療を行っていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診することを行います。



●コンビニ受診をしないためには…

体調が悪くなったら、早めにかかりつけ医を受診しましょう。また、健康診断などを積極的に受け、病気の予防や早期発見に努めることも大切です。

症状は軽いけど、休日にどの病院を受診したらよいか、どのように対処したらよいか分からない場合は、市広報紙の裏面や市ホームページに休日在宅当番(歯科)医を記載していますので、ご覧ください。

また、子どもの急な病気やけがなどの場合は、長崎県小児救急電話相談(☎#8000)をご利用ください。

「母子手帳アプリ みなみしまばら」の提供開始

図こども未来課(南有馬庁舎) ☎73-6652

令和7年7月から「母子手帳アプリ みなみしまばら」を提供開始しました。

母子手帳アプリは、妊娠期から子育て期までをサポートし、予防接種や乳幼児健診の記録を保護者が入力し、デジタル化します。

また、本市の母子保健事業のお知らせや育児に役立つ情報などを配信します。



アプリの機能

●予防接種の標準接種日の自動表示や受け忘れ防止アラート

●胎児や子どもの成長記録(グラフ表示)

●子どもの成長を写真と一緒に記録 など

図市内に住所を有し母子健康手帳をお持ちの人

図無料



母子モアプリ



市HP

20歳以上の女性へ
子宮・乳がん、骨粗しょう症検診を受けましょう

図健康づくり課(南有馬庁舎) ☎73-6641

開催日など詳細な情報は、5月中旬に郵送した「オレンジ色の封筒」をご確認ください。

女性検診

図10月29日(水)

図有家保健センター

●電話予約期間: 9月29日~10月24日(平日)

※事前発送指定日: 10月16日(木)



市HP



10月の集団女性検診がお得!!
理学療法士による骨折予防のための
運動指導を同時開催

予約方法

●けんしん予約センター

☎0120-611-711

(平日:午前8時30分~午後5時15分)

●WEB予約(24時間対応)

右記のQRコードから
予約できます。



Web予約申込

事前発送指定日… 指定日までの予約者には、受診票などを送付します。

※指定日以降の予約者は、会場で受診票をお渡しします。

個別検診の
お知らせ

10月1日から開院される「くちのつみなとクリニック(旧しおた内科胃腸科医院)」で、子宮頸がん検診が受診できます。

希望者は直接医療機関へご予約をお願いします。

図くちのつみなとクリニック ☎86-4443

おいしく食べよう!南島原



市内の稲作

令和6年度、543ヘクタールで水稻が作付されて、2,860トンの米が収穫されました。

543haは



市の面積の
約3%

2,860トンは



約48,000俵
※1俵=60kg

一人当たりの米の年間消費量を約55kgとすると、約52,000人が1年間に食べる量の米が生産されたことになります。

このコーナーでは、豊富な農産物・水産物があり、食に恵まれた南島原の食にまつわる情報をご紹介します。

今回は「米」がテーマです。

日本の米の状況

令和6年度、全国で680万トンの米が収穫されました。対して、全国の米の需要は1年間でおよそ700万トンといわれています。

需要量は人口の減少とともに年に10万トン程度の減少となっているようです。

備蓄米のはじまり

1993年は冷夏により需要に対して供給量が200万トン不足したともいわれ、当時海外から米を緊急で輸入したことがあります。翌年は猛暑だったことから米不足は解消したようですが、この経験から不作が2年間続いても米を安定供給できるよう、備蓄米の運用が開始されました。



10月は臓器移植普及推進月間です

図(公財)長崎県健康事業団 ☎0957-43-7131

話そう。大切な人と。
知らせておこう自分のこと・
知っておこう家族のこと

全国には移植でしか根治しないと診断された人のうち、移植希望登録をしている人が現在約16,000人います。

移植医療は善意の提供があってこそ成り立つものですが、日本では臓器の提供者が少ないため、実際に移植を受けることができる人は年間約4%と低い状況です。

あなたの身に「もしも」のことが起きたとき、臓器提供の意思が分からないと家族や大切な人が迷ってしまいます。この機会に家族や大切な人と臓器移植や意思表示について話し合い、自分の意思を示しましょう。

「あなたの意思で救える命、つながる命があります。」

10月は骨髄バンク推進月間です

図県南保健所(島原市) ☎0957-62-3289
(公財)日本骨髄バンク ☎03-5280-1789

~勇気とやさしさがいのちを救います~

全国で骨髄移植を必要としている患者は毎年、約2,000人います。

一人でも多くの命を救うためには、骨髄バンクのドナー(骨髄・末梢血幹細胞の提供者)登録が不可欠ですが、特に若い世代のドナー登録が少ない状況です。

皆さんのあたたかいご協力をお願いします。

図18~54歳までの健康な人で、
体重が男性45kg、女性40kg
以上の人



日本骨髄バンクHP